

退職 互助だより

第171号

令和1.7.22

発行

一般財団法人 島根県教職員互助会

〒690-8502 松江市殿町1番地

島根県教育庁福利課内

TEL (0852) 22-6067

(ホームページURL) <https://www.shimakyogo.jp/>



「肥牛・瘦馬図」落合朗風作

大正10年(1921年) 島根県立美術館蔵

7月3日(水)～8月5日(月)「特集 日本美術院」2F展示室1(日本画)にて展示

目次

○ 事務局からのお知らせ

- ◇平成30年度事業報告 2
- ◇医療補助金請求に関するお願い 3
- ◇医療補助金等の給付金送金スケジュールについて 3
- ◇表紙作品解説 3
- ◇新評議員・新役員について 4
- ◇文化講演会について 4
- ◇放送大学で生涯学習を 4

○ 園芸

- ◇古典園芸植物「梅」 5

○ 地区会だより 退職互助平田地区会

- ◇令和の年を迎えて 6
- ◇随想 憩いの場 愛宕山公園 7
- ◇地区会活動 7

○ 事務局だより 8

○ お悔やみ 8

○ あとがき 8

平成30年度 事業報告

一般財団法人島根県教職員互助会の平成30年度決算は、去る5月22日(水)に開催された第45回理事会において承認され、6月27日(木)に開催された第28回評議員会で報告されました。そのうち、教互退職互助事業会計の概要は次のとおりです。

給付事業

(単位：千円)

項目	平成29年度	平成30年度
医療補助金	134,143	135,435
入院見舞金	4,283	4,922
長寿祝金	14,840	13,930
弔慰金	1,350	1,300
拠出金返還金	2,650	2,089
退会拠出金返還金	0	0
合計	157,266	157,676

厚生事業

(単位：千円)

事業名	平成29年度	平成30年度
福利増進事業	20,274	20,344
教育会館利用助成	1,210	1,158
退職互助だよりの発行	1,947	1,841
人間ドック補助事業	4,957	5,189
ライフプラン助成事業	3,806	4,364
合計	32,194	32,896

収益と費用(収支)

(単位：千円)

収支	内訳	平成29年度	平成30年度
収益	拠出金収入	150,414	159,756
	有価証券収益等	54,801	53,291
	合計	205,215	213,047
費用	医療費給付等	157,266	157,676
	厚生事業等	32,194	32,896
	その他事業費	41,235	42,607
	責任準備金等繰入	0	0
	合計	230,695	233,179
当期経常増減額		△ 25,480	△ 20,132
	評価損益等	△ 190	45,870
	責任準備金等戻入	38,414	13,603
	当期経常外増減額	31	△ 31
	他会計繰出額	△ 29,369	△ 31,291
当期正味財産増減額		△ 16,594	8,019

※1 責任準備金に関する損益の計上方法が変更となっています。

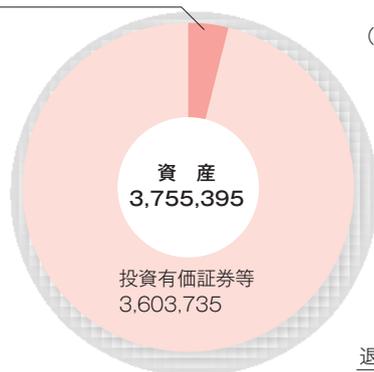
※2 投資有価証券の評価益はふくみ益であり、実益を伴うものではありません。

資産と負債(正味財産)

(単位：千円)

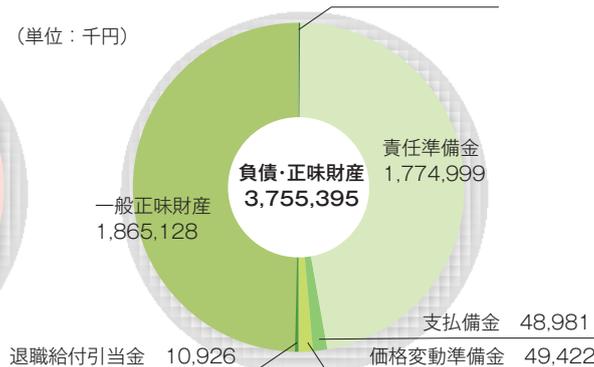
資産・負債	内訳	平成29年度	平成30年度
資産	普通預金等	101,080	151,660
	投資有価証券等	3,657,865	3,603,735
	資産合計	3,758,945	3,755,395
負債	未払金等	6,018	5,939
	責任準備金	1,786,401	1,774,999
	支払備金	49,957	48,981
	価格変動準備金	50,645	49,422
	退職給付引当金	8,814	10,926
	一般正味財産	1,857,110	1,865,128
	負債合計	3,758,945	3,755,395

普通預金等 151,660



未払金等 5,939

(単位：千円)



70歳までの
加入者

医療補助金請求に関するお願い
『受給者証(医療証)』のコピーの提出をお願いします。

国・県・市町村が実施する医療費助成制度の適用を受けて受診された方は、医療補助金請求書を提出する際には、使用された「**受給者証(医療証)**」の**コピー**を互助会まで提出してください。(自己負担額確認のため。)

受給者証(医療証)の例

「特定疾病療養受療証」、「自立支援医療受給者証」、「福祉医療費医療証」
「特定医療費(指定難病)受給者証」等

「受給者証(医療証)」の
コピーを提出する時期

「受給者証(医療証)」の適用を受けて受診した医療費に係る医療補助金請求書を**初めて**互助会へ提出するとき。

※「受給者証(医療証)のコピー」は1度提出すればよいです。

※互助会の医療補助金は自己負担額を助成する制度です。

このため、「特定疾病療養受療証」等の各種受給者証(医療証)を提示しないで、自己負担限度額を超える医療費を支払われた場合は、必ず、県等から払い戻しを受けた後に互助会へ請求してください。

医療補助金等の給付金送金スケジュールについて

8月、9月、10月の医療補助金請求書等の受理日と給付金送金日は次のとおりです。

請求書受理日 (支局・事務局) *17:15まで

令和元年7月22日(月)～ 8月20日(火)

令和元年8月21日(水)～ 9月20日(金)

令和元年9月24日(火)～ 10月18日(金)

給付金送金日 (26日)

令和元年 9月26日(木)

令和元年10月28日(月)

令和元年11月26日(火)

注意

①請求書の提出先が各支局となっている方が、事務局へ提出されても構いませんが、その場合は、事務局から担当の支局へ転送するため、支局への到着日が請求書類受理日となります。

***支局担当者は、勤務日の変則的な場合があります。**

②給付金送金日が土・日・祝日の場合は、翌営業日になります。

表紙掲載
作品解説

落合朗風「肥牛・瘦馬図」

大正10年(1921年) 島根県立美術館蔵

7月3日(水)～8月5日(月)「特集 日本美術院」展示室1(日本画)にて展示

父親の出身地出雲市平田町にしほしば帰省した落合朗風(1896-1937)は、40歳の短命のうちに前衛的な日本画を発表しました。東京で川端玉章の川端画学校に通い、京都に移って遠戚で同郷の小村大雲にも学びました。当初文部省主催の美術展覧会へ入選するも、ほどなくして在野の日本美術院の展覧会で頭角を現します。

本作はその第8回展へ四曲一雙屏風で出品したにも関わらず、審査によって半双の《肥牛》のみが入選となりました。これより2年前の《エバ》は出品作434点のうち入選6点の徹底した厳選を通り、横山大観から高い評価を得ただけに、納得できるものではなかったでしょう。牛は堂々として神聖な雰囲気漲らせ、背景の空間にまで

満ちる緊張感があります。それに対して馬は焦点の合わない視線を漂わせ、賦彩も陰影の濃いものです。色彩、構図、筆遣いの表現において対照的にすることで、象徴的な意味を左右の画面に持たせている作品です。

画塾や学校に属した期間は短く、画壇の立場は不遇でありながら、名誉や富貴を追わず明朝に制作に取り組みたいと願った朗風。絵を見て打たれるのは作者の純情であり、輝きを失わないものは技巧ではなく、魂だと熱く語る彼の作品は、彼の言葉どおり魅力を放ち続けています。

(島根県立美術館 主任学芸員 田野葉月)

新評議員
新役員に
ついて

互助会の評議員・役員が決定しました。

評議員の一部に退任がありましたので、第27回評議員会において新しい評議員が選任されました。また、役員の変更により、第28回評議員会において新しい役員が選任され、第46回理事会において代表理事が選定されました。

評 議 員	
推薦団体名	氏 名
新 県 教 育 委 員 会	佐藤 睦也
島根県教職員組合	猪俣 邦顕
島根県高等学校教職員組合	梶田 悦伸
新 島根県教職員協議会	佐藤 悦子
島根教職員組合(日教組島根)	村本 知里
島根県学校事務職員労働組合	白根 周治
島根県教育庁職員組合	鹿島 淳
新 島根県小学校長会	畠山 直文
新 島根県中学校長会	池田 宗市
新 島根県小中学校教頭会	川上 秀明
島根県公立高等学校長協会	山本 康治
島根県公立小中学校事務職員研究会	青山 悦子
新 島根県公立学校事務長会	横田 浩
公立大学法人島根県立大学	松尾 紳次

新 島根県国公立幼稚園・こども園長会	青木 規子
新 退職互助代表者会	林 克典
役 員 (理事)	
選出団体名又は充て職名	氏 名
理 事 長	県教育委員会教育長 新田 英夫
副理事長	県教育庁教育次長 石原恵利子
常務理事	県教育庁福利課長 平野 英夫
理 事	島根県高等学校教職員組合 黒崎 浩匡
理 事	島根県小学校長会 梶田 勝造
理 事	退職互助代表者会 澄田 俊成
理 事	教職員互助会事務局長 平岡 昇
理 事	教職員互助会事務局次長 今渡 公男
役 員 (監事)	
選出団体名又は充て職名	氏 名
島根県高等学校教職員組合	大網 孝次
島根県教職員組合	宇都宮 弥生

2019年度 文化講演会の開催について

松江会場

※教職員以外の方も聴講できます

日時 令和元年 8月18日(日) 14:00~15:30

会場 島根県民会館 大会議室 (松江市殿町158番地)

演題 「アンガーマネジメント

～教育現場における感情コントロールの重要性について～

講師 千原圭子 氏

(アンガーマネジメントトレーナー、叱り方トレーナー、スマイルアテンダント)

益田会場

日時 令和元年 11月2日(土) 14:00~15:40

会場 島根県芸術文化センター「グラントワ」大ホール

(益田市有明町5-15)

講師 石原良純 氏 (俳優、気象予報士)

入場整理券の
申込方法

はがき、ファックス、電子メールのいずれかの方法でお申し込みください。

①氏名 ②郵便番号と住所 ③連絡先電話番号(携帯可) ④入場希望人数 ⑤会場(松江、益田)を記入の上、
下記まで申込み願います。

【申込・お問い合わせ先】 一般財団法人島根県教職員互助会 担当:曾田

〒690-8502 松江市殿町1番地 TEL 0852-22-6067・6068 FAX 0852-27-2622 e-mail info@shimakyogo.jp

放送大学では大学卒業(学士取得)のほか、各種資格の取得や学びたい1科目からの受講も可能です。

シニア層の
人気科目

英語事始め

初歩からの宇宙の科学

心理学概論

日本の古代中世

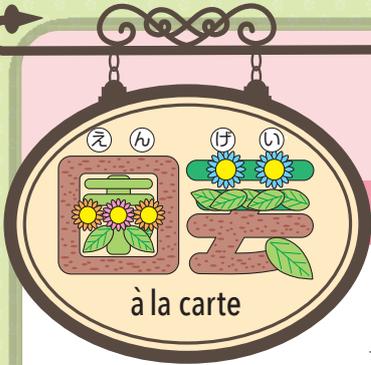
家族と高齢社会の法

また、教職員互助会退職互助の会員の方は、「退職者ライフプラン助成事業」の対象となります。これまで多くの教員や退職者の皆さんも利用されています。どうぞ、お気軽にお問合せください。

放送大学
島根学習センター

松江市白潟本町スティックビル4階 TEL:0852-28-5500
http://www.sc.ouj.ac.jp/center/shimane/

放送大学で
生涯学習を



古典園芸植物「梅」(ウメ)

退職互助松江地区会 杉谷 肇

お花畑の名山「岩手山」(2038m)

神が住む山「早池峰山」(1917m)

昨年7月、岡山・広島の大水害のため、予約の夜行列車「サンライズ出雲」運休。急きょバスにて東京。東北新幹線にて盛岡へ。

平均年齢優に70超えの12名、散策した「日本のふるさと遠野」では児童の出迎え。ロッジ3時起床での行動開始、快晴に恵まれ二日かけての名山2峰登山、見事な眺望と花々を堪能しました。



「早池峰山」頂上めざして



高山の名花 コマクサ



山の名前由来のハヤチネウスユキソウ



ヨツバシオガマ

古典園芸「梅」



バードカービング

「初春令月 気淑風和 梅披鏡前之粉 蘭薫珮後之香」時は天平2年(730年)正月13日、大宰府大伴旅人宅での「梅」の花見の宴。梅は当時、珍しい外来植物で、万葉人はその花の白さに魅了されたとのこと。

「梅」[牧野日本植物図鑑]によると、中国原産の落葉高木、恐らく古代に日本に渡来したものであろう……。梅の語源に3説。1つは烏梅、熏べ梅のことで、乾燥品を薬用にしたもの。1つは梅の漢音で mui または mei の転訛。もう一つは朝鮮語のマイに由来したものである、と記してあります。

時を経て、「東風吹かば匂ひおこせよ梅の花・・・」とうたった菅原道真、延喜3年(903年)生涯を閉じた後、醍醐天皇により、道真の怒りを鎮めるために天満宮が建立されたとのこと。

小生、20年来バードカービング(木彫りの鳥)製作を趣味とし、大宰府天満宮の伝承「鸞替え神事」(これまでの悪いことを「うそ」に変えて今年の吉に取り換える 1月7日神事)を題材に「梅に鸞」を作成しました。

3.11津波の大被害を受けた、日本三景「松島」近郊の国宝「瑞巖寺」には伊達正宗公が文禄2年(1593年)朝鮮出兵の折持ち帰った紅白の「臥龍梅」が植わっていました。(昨年春参観の折、残念ながら花後でした)

かつての教職員互助会。銀婚式、現・退一体での美術展、スポーツ行事等々、福祉・厚生事業活発のころ、松江地区互助会主催農林高校で正月用の寄せ植え教室も数回ありました。梅の木衰えましたが、その折作った寄せ植え、我が家の新年の迎えに今でも飾っています。



【バラ科】



臥龍梅



寄せ植え 松竹梅

令和の年を迎えて

平田地区会会長 儀満 利夫

終活

最近、人生の締めくくりとしての終活ということを知った。私たち夫婦も老いを感じ、動けるうちに片づけをしていくことにした。車庫や倉庫を片づけてみると、案の定何やら出てきた。道具やタンスなどの物は処分できた。漢字の手習いの手本らし

いものが出てきた。明治八年生まれの祖父が使っていたもののような。小学校の教科書も出てきた。これは大正五年生まれの父が使っていたものようだ。処分するはずのものが、祖父や父の生きていた昔をしのぶことで手が止まる。



五十年前

五十年前の手紙が出てきた。私宛のものである。「大学入試はどうだったか。」

「入学式はすんだか。」などと書いてある。昭和四十四年は大学紛争のさなかで、私たちの入学式はなかった。東大の入試がなかった年である。その頃の通信手段は手紙を多用していた。みんなが、結構筆まめであった。

今春、高校卒業から五十年目の同窓会でその頃の手紙について友人と語り合ったが、ちよっぴり恥ずかしかった。それは、別人のような昔の自分が、どんなことを書いていたのだろうかと思ったからである。

卒論の資料も出てきた。石見地方の廻船問屋で豪農の家の蔵に眠っていた資料を掘り起こして書いた卒論である。江戸時代、廻船により山陰の各地から、鉄や瓦、半紙、生蠟などを積んで新潟や秋田に出かけ、主に米などを持ち帰ったり、さらにはいろいろな商品を売買しながら九州や大阪に廻ったりしていることがわかった。豪農経営について追究するとともに、封建制下の日本海海運からみた資本主義の生成について論じようとしたものだ。

今は亡き一年先輩から手紙で貴重なアドバイスをもらっていた。すっ



かり忘れていたがありがたいことだ。それにしても、卒論の下書きなど、その頃の自分の文章に自分ではないものを感じた。一言で言えば表現が難しい。わりと丁寧に書いていたところが、自分で自分をほめる。

あれもこれも、私の生きてきた証が出てきたようで、消し去ることに躊躇する。

三十年前

平成三十一年、平成最後の年とともに、私は古希を迎えた。

平成元年を迎えた時、数えの四十歳。そのころの平均寿命は八十歳前後だったので、四十歳は、例えばブルーの壁をけってターンするようになり、人生の折り返しをするところ、という意識でいた。

カラオケで、吉幾三の「おじさんサンバ」(知っている人は少ないかもしれないのだが・・・)を歌っていた。

四十二歳の厄年のおじさんの歌で、昭和そのものだ。

♪オジサンは オジサンは オジサンは ハリマ王が好きだったという調子で続き、赤胴鈴之助、街頭テレビ、隠密剣士、白馬童子、力道山、少年ジェット、ジェスチャー、星影のワルツなどが出てきて、終わりに

♪オジサンは四十二 厄年ジャン
オジサンはマイクを絶対離さない
平成は三十年余り。日数にすれば一万千七十日。あつという間だった。私が勤務してきた学校の内、六校が次々と統合により、なくなってしまう。

しかし、その間、教え子たちの同窓会に何度も呼ばれて、旧交を深めることができた。

ここに教育の醍醐味があり、生きてきた証がある。写真も捨てられない。

令和時代を迎え

終活として断捨離を進めようにもなかなか難しい。

令和時代を迎え、生きてきた証を残すことも大切だが、せめて生きがいづくりをしていこうと考える。

ピンピンコロリを望んでいる人も、健康をとり戻そうと懸命な人も、生きがいづくりは、いつまでも続くのではないだろうか。

随想

憩いの場 「愛宕山公園」

退職互助平田地区会役員 土江 洋子

平田の町の西北部に位置する愛宕山は、春はソメイヨシノ等の桜が山を彩り、新緑、紅葉と一年中違った山の色を見せてくれる。

○私が子どもの頃の「愛宕山」

東入り口から桜並木のトンネルをくぐって、なだらかな坂を上がつて遊びに行った。弁当と縄を持って、大きな松の根っこを目ざした。崖の下からその根っこに縄を引つけてターザンごっこをした。今のような公園ではなく、秘密基地のような場所だった。

桜の季節が来るとお花見に行けることが楽しみだった。夜桜のぼんぼりとたくさんの人が楽しそうにお花見をしている姿が心に浮かぶ、なつかしい思い出の場所である。

○白鳥が泳ぐ「水鳥池」

池の側に広場があり、お弁当を広げたり散歩したりできる。春は池の水面に映るたくさんの桜の花と白鳥とが、美しい絵画のようで心も安らぐ。



この展望台からの眺めがすごい。東の空遠くに名峰大山。斐伊川のゆるやかな流れと白く光る六道湖。西には旅伏山。そして眼前には平田の町並と田園風景。心までうんと広がって幸せを味わえるところだ。



○動物たちについても会える「愛宕山動物広場」
ここは出雲市では唯一の動物園。ポニー、カンガルー、鹿、ロバ等約10種類いる。畑で収穫した人参やさつま芋等をおみやげにし、孫といっしょに時々訪れている。

○幼児たちが遊べる「ちびっ子広場」

大きな遊具はないけれど、ブランコ、すべり台、鉄棒、シーソー、ターザンロープ、回旋する自転車こぎ等があり、小さい子ども達に人気のスポットだ。

○絶景広がる「山頂展望台」

ちびっ子広場から少し離れているため、あまり知られていないが、思いの出の松がある、私のお気に入りの場所だ。

地区会活動

退職互助平田地区会

幹事長 吾郷 清子

平田地区会は昨年度、九名の新会員を迎え、活動をスタートしました。活動内容は次のとおりです。

- 一 総会、懇親会（四十五名参加）
六月十日に実施し、総会終了後懇親会を開き和やかに会員間の親交を深めました。
- 二 厚生旅行（十九名参加）



十月二十
六日に飯南町方面へ出かけました。少し肌寒さを感じる日でしたが、「赤名りんご園」ではおいしいりんご

の見分け方を教えていただき、数種類のりんごを試食し、至福のひと時でした。

「赤名湿地性植物群落」は、花のない時期で残念でしたが、見頃の時期に思いを寄せながらの散策でした。

「しめ縄創作館」では、しめ縄用の特別な稲わらが展示してあり、その長さは普通の稲わらの倍くらいあり驚きました。

厚生旅行は限られた予算で企画



をする難しさはありますが、今後も魅力あるコースを提案したいと思います。

三 趣味の会

心身のリフレッシュを目的として、囲碁、グラウンドゴルフ、味を楽しむ会、寄せ植えの会を実施し、参加者べ人数は七十五名でした。参加者が趣味を通して和気あいあいと楽しい交流の場となっています。

また、ゴルフや自然に親しむ会など、三人以上の同好会十グループ四十一名に補助をし、リフレッシュの一助としています。

四 会報の発行

毎年一回、三月に会報「のぞ美21」を発行し、地区会の活動状況や会員の寄稿文を載せて情報発信をしています。

平田地区も高齢化傾向か、参加者が若干減少気味です。新元号「令和」になり、新たな気持ちで創意工夫し、楽しく参加できる地区会活動を展開していけたらと思います。

事務局だより



退職互助事業の加入状況について

今年度は、新たに169人の方が退職互助事業に加入されました。
 加入率（47歳以上の退職者に対する加入者の割合）は、50・7%で、昨年度同様に五割を超えることができました。

人間ドック補助事業について

会員の皆さんの健康管理、疾病予防や病気の早期発見のため実施しております、人間ドック補助事業についてです。
 今年度も昨年度と同様、教互会員を対象に350人分、県互会員を対象に40人分の定員を設け、補助事業の希望者を募集いたしました。

しかしながら、教互会員にあつては、585人もの方から申し込みがあり、残念ながらすべての方の希望に沿えない結果となりました。ご了承ください。
 補助金の対象者になられた方は、人間ドック受診後の請求手続きを忘れずにお願いたします。また、人間ドックを受診できなくなった場合には、速やかに事務局までご連絡をお願いします。

なお、人間ドック補助事業のお知らせについては、例年、「退職互助だより4月号」に掲載しておりますので、お見逃しのないようお願いいたします。

ホームページリニューアルのお知らせ

このたび、ホームページをより使いやすく快適にご利用いただけるように、リニューアルを行いました。

なお、ユーザーID及び、パスワードの変更はありませんのでよろしくお願いたします。

ユーザーID : kaiin
 パスワード : gojo

謹んでご冥福をお祈りいたします

鹿野 登 様 (松江市) H31.3.24 (91歳)	石倉 泰 様 (出雲市) H31.4.28 (93歳)	坂本喜代子 様 (大田市) R1.5.6 (91歳)
野々村 淳 様 (松江市) H31.4.12 (91歳)	阿部 和男 様 (出雲市) H31.4.29 (81歳)	大井 昭子 様 (江津市) R1.5.18 (91歳)
渡部 英二 様 (松江市) H31.4.21 (88歳)	兒玉 正二 様 (出雲市) R1.5.3 (90歳)	近藤 和恵 様 (益田市) H31.1.6 (91歳)
中永 秀繁 様 (松江市) H31.4.27 (66歳)	曾田 和子 様 (出雲市) R1.5.6 (83歳)	近藤 一郎 様 (益田市) H31.1.26 (88歳)
岡田 穂積 様 (松江市) R1.5.16 (93歳)	伊藤 郁 様 (出雲市) R1.6.3 (94歳)	森田 梢 様 (益田市) H31.4.9 (88歳)
新田 春子 様 (松江市) R1.6.10 (93歳)	春木 清 様 (出雲市) R1.6.15 (86歳)	菊池 倫 様 (益田市) H31.4.24 (88歳)
三代 昌男 様 (松江市) R1.6.15 (79歳)	松岡 明博 様 (雲南市) H31.4.20 (89歳)	廣兼 幸子 様 (益田市) R1.5.13 (85歳)
古志野宣江 様 (安来市) H31.1.22 (88歳)	山根 延夫 様 (奥出雲町) H31.4.28 (90歳)	三好眞八郎 様 (益田市) R1.5.14 (91歳)
小西 伸長 様 (安来市) H31.4.14 (85歳)	杖田ヨウ子 様 (浜田市) H31.4.11 (85歳)	片山 博文 様 (益田市) R1.5.30 (88歳)
須山 彰 様 (出雲市) H30.7.15 (88歳)	植田 温子 様 (大田市) H31.3.8 (90歳)	百合本健夫 様 (益田市) R1.6.10 (85歳)
石橋 征夫 様 (出雲市) H30.8.18 (73歳)	渡邊 勉 様 (大田市) H31.4.13 (93歳)	横山智恵子 様 (益田市) R1.6.10 (94歳)
持田登美子 様 (出雲市) H31.2.17 (84歳)	石田ほづみ 様 (大田市) H31.4.14 (76歳)	水津 幸子 様 (津和野町) R1.5.17 (82歳)
竹並 裕二 様 (出雲市) H31.2.28 (71歳)	松原 忠晴 様 (大田市) H31.4.14 (92歳)	大庭 玉代 様 (津和野町) R1.6.20 (91歳)
川上 昌雄 様 (出雲市) H31.3.2 (85歳)	大石 寛隆 様 (大田市) H31.4.18 (76歳)	池田佐和子 様 (隠岐の島町) H31.3.16 (85歳)
三加茂禧恵 様 (出雲市) H31.3.21 (96歳)	宅和 邦子 様 (大田市) H31.4.23 (87歳)	
持田 芳子 様 (出雲市) H31.4.4 (90歳)	新治 正法 様 (大田市) H31.4.27 (86歳)	

本欄は、異動届が提出された方で、了承された方のみ掲載しています。



「えっ 今日月は赤い！」
 六月一七日。何とこの日の満月をストロベリームーンと言うんだそうです。少し赤みがあった月が低い所に、やや小さく見えました。アメリカの先住民は「イチゴの収穫時期だよ」ということで言い伝えてきたそうです。気象情報もなく、雨や風、太陽や月と共に、四季の移ろいを感じ、自然に畏敬の念を抱きつつ、暮らしていたのでしょう。

最近、地震や災害が頻発しています。高温地球が悲鳴を上げているのでしょうか。海洋汚染の酷さも情報によって、知ることが出来ます。私たちにできることは、自分の眼でよく見て考え、次世代にとって、住みやすい世を残していくことではないでしょうか。

さて、今号の表紙は落合朗風氏の日本画です。馬の目と牛の目に興味を惹かれます。牛の目の漲る生気に対して、馬の目はどこを、何を見ているのでしょうか。県立美術館に足を運び、作品の前で、牛や馬と語り合ってみたいと感じます。

令和初めてのご寄稿は、平田地区会の皆さんからです。今まで整理をしてこなかった私としては、一つ一つそうだろうかと共感しながら、自分もしなければという気持ちになりました。

身近な地域の自然に触れ、旅行や趣味、周りの人から元気をもらいながら、明るく楽しく暮らしたいものだと思います。

事務局からは、新年度に於けるたくさんのお知らせを掲載しております。再度ご覧ください。

今夏も、猛暑が予想されます。どうか、お健やかに過ごしてください。(岡)

会員のみならず、ご家族の方へ

転居などによる住所変更があった場合や、会員本人がお亡くなりになられた場合など、会員情報に変更があった際には、速やかに互助会事務局までご連絡ください。